平和首長会議ニュース

2021 年 9 月　/　第 141 号

平和首長会議加盟都市数
165 か国・地域　8,045 自治体
加盟都市数 10,000 都市を
目指しています！
日本国内加盟自治体数：1,734
（2021 年 9 月 1 日現在）

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！
ウェブサイト:
http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html
フェイスブック:
https://www.facebook.com/mayorsforpeace
ツイッター:
https://twitter.com/Mayors4Peace
「いいね！」をお待ちしています。

＜＜今号の内容＞＞

◆PXビジョンへの支持メッセージを頂きました！
◆第75回国連総会「平和の文化に関するハイレベル会合」で平和首長会議会長のビデオメッセージが上映されました！
◆平和教育ウェビナー「世界の青少年による平和活動交流会」を開催しました！
◆全米市長会議が年次総会において平和首長会議を支持する決議を採択しました
◆平和首長会議原爆ポスター展 ― 今夏も各地で開催されました
◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2021の作品募集中です！
◆「ヒロシマ平和行政実務者研修」を「平和首長会議インターンシップ」に統合します
◆平和首長会議加盟自治体数: 165か国・地域　8,045自治体
◆平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
◆長崎大学核兵器廃絶研究センターから：2021年版「世界の核弾頭データ」ポスター解説③
◆広島市立大学からのお知らせ：8月に『広島発の平和学』を刊行
◆ヒロシマ発平和関連ニュース（中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事）
◆広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

＝＝

■PXビジョンへの支持メッセージを頂きました！

＝＝

アントニオ・グテーレス国連事務総長を始め5名の方から、平和首長会議が今年7月に策定した「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン（PXビジョン）」への支持メッセージを頂いたのでご紹介します。

アントニオ・グテーレス 国連事務総長

UN/Photo Mark Garten

この度、平和首長会議が新たに「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン」を策定されたことに心よりお祝いを申し上げます。この新ビジョンは、世界平和という人類共通の願いの実現に向け、世界中の人々に訴求力をもって行動を呼び掛けるものです。核兵器廃絶は国連における軍縮の最優先課題であり、昨今の核保有国間の政治的緊張は廃絶に向けて核軍縮を直ちに進展させる必要性を強調しています。世界各地の首長は、その都市に住む市民の代弁者として、他に類を見ない道徳的権限を持っており、核兵器のない世界の実現という共通のビジョンに向けて彼らが対話を促すために行っている活動を称賛します。被爆者の思いを次代に伝え、世界に平和をもたらすための平和首長会議の貢献に感謝申し上げます。

ペーター・マウラー 赤十字国際委員会（ICRC）総裁

この度、平和首長会議が「核兵器のない世界の実現」・「安全で活力のある都市の実現」・「平和文化の振興」を目標と定めた新ビジョンと行動計画を策定されたことに心よりお祝いを申し上げます。平和首長会議は、被爆の実相と被爆者の平和への思いをたゆみなく世界に発信し続け、核兵器禁止条約の実現にも大きく貢献されました。核兵器は人類共通の安全保障にとって、最大の脅威です。私たちは、核兵器を地球上からなくすために連帯し、人類のための持続可能な未来の実現に向けて努力を続けなければなりません。この新ビジョンは、核兵器廃絶という人類共通の目標の達成に向かって明確な道筋を示し、人々にインスピレーションを与えるものです。

アレクサンダー・クメント 核兵器禁止条約第１回締約国会議議長候補

平和首長会議がこの度策定された新ビジョンと、その実現に向けて定めた行動計画に大きな感銘を受けました。「核兵器のない世界の実現」・「安全で活力のある都市の実現」・「平和文化の振興」という相互に関連し合う三つの目標は、現在の国際社会における喫緊の課題です。このアプローチは、核兵器禁止条約の締約国が条約をもって達成しようとしていることと完全に合致しており、平和首長会議が条約の批准国拡大に向けて尽力されていることを心強く感じます。そうした中で、平和首長会議の呼び掛けにより、日本政府による第１回締約国会議へのオブザーバー参加が実現することを願っております。ウィーンで開催される第１回締約国会議において、松井会長と、この国際条約の実現に多大なる貢献をされた被爆者の方々とお会いできることを楽しみにしています。核兵器のない世界の実現に向けてたゆまぬ努力を続けられる平和首長会議と松井会長に敬意と感謝の意を表します。

エレン・ホワイト 元核兵器禁止条約交渉会議議長

核兵器のない世界を推進し、凄惨な被爆体験をされた被爆者の勇気ある声を伝えるために力を尽くす平和首長会議の活動を称賛します。今、私たちは、核兵器の法的禁止が現実のものとなり、多数の国家がこの忌まわしき兵器に対する絶対拒否を繰り返し表明するという、新たな時代を生きています。この度策定された行動計画において核兵器禁止条約の批准国拡大に向けた取組に重点が置かれていることを心強く思うとともに、平和首長会議がこのような素晴らしい活動を今後も続けていくことを期待しています。

ベアトリス・フィン 核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）事務局長

この度、平和首長会議が新たに「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン」を策定されたことにお祝いを申し上げるとともに、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)を代表して確たる支持を表明します。この新ビジョンは、核兵器の脅威を含む、世界が直面する様々な喫緊の課題解決に、精力的かつ大胆に寄与するものです。平和首長会議は長らく核兵器禁止条約の提唱者として、条約の実現をリードしてきました。そして、このビジョンの主要な取組事項として、引き続き条約の批准国拡大に向けて尽力されていくことを大変嬉しく思います。今後もICANと平和首長会議が肩を寄せ合い、世界中の平和首長会議加盟都市との連携の下、この重要なビジョンの実現に共に取り組んでいくことを願っています。

＝＝＝

■第75回国連総会「平和の文化に関するハイレベル会合」で平和首長会議会長のビデオメッセージが上映されました！

＝＝＝

第75回国連総会のヴォルカン・ボズクル議長の招きにより、9月7日（火）（現地時間午前10時～午後6時）に米国・ニューヨーク市の国連本部で開催された「平和の文化に関するハイレベル会合」のパネルディスカッションの中で、平和首長会議の松井会長（広島市長）のビデオメッセージが上映されました。

同会合は、1999年9月に国連で採択された「平和の文化に関する宣言」と行動計画に基づき、「平和の文化」の推進を目的として2012年以降毎年開催されています。パネルディスカッションの議長であるアンワルル・チョウドリー大使が、平和首長会議が「平和文化の振興」を今年7月に策定した「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン」（略称「PXビジョン」）の目標の一つとして掲げたことを評価してくださり、この機会を得ました。

松井会長はビデオメッセージの中で、「現下の予断を許さない国際情勢を打開するためには、核兵器廃絶を市民社会の総意にすることで、為政者が国家の安全保障から人間の安全保障へと政策転換せざるを得ないような社会環境を醸成することが重要である。そのためには、世界中の市民一人一人が日常生活の中で平和について考え行動し、平和への思いを共有する文化、すなわち平和文化こそが必要不可欠であると考え、『平和文化の振興』をビジョンの目標として加えた」と述べました。

パネルディスカッションの模様は、以下のリンクからご覧いただけます。（松井会長のビデオメッセージは、24:10 頃から始まります。）
https://media.un.org/en/asset/k12/k1207gqgdn

＝＝＝

■平和教育ウェビナー「世界の青少年による平和活動交流会」を開催しました！

＝＝＝

　平和首長会議では8月26日、加盟都市等における青少年が主体となった平和活動の活性化を図るため、平和教育ウェビナー「世界の青少年による平和活動交流会」を開催しました。

　ウェビナーには、広島・長崎の団体をはじめ、世界各地で平和活動を行っている9つの団体から13人の青少年が参加し、自身が行っている平和活動について発表するとともに、視聴者からの質問に答えました。その後、参加者同士で行った今後の活動についての意見交換では、「今回のウェビナーでできた団体間のつながりを活かし、一緒にオンライン行事を開催するなど、連携して平和活動を行っていこう」という提案がありました。

【発表者】（括弧内は居住地）

ユースピースボランティア	中村悠人さん（日本）
PAX	アレハンドラ・ムニョスさん（オランダ）
マラヤ大学	サマイヤ・モー・マズランさん、アキダ・リマンさん（マレーシア）
インフランダースフィールド博物館	アレクサンドロ・ヤラミスさん（ベルギー）
KNOW NUKES TOKYO	高橋悠太さん、中村涼香さん（日本）
Nuclear Age Peace Foundation	ジャック・モーゼスさん（アメリカ）
ニュージーランド赤十字	サカー・モナサーさん（ニュージーランド）
UN #Youth4Disarmament Initiative	マリーケイト・モナハンさん（イギリス）、イサ・ベグメンさん（ドイツ）
ナガサキ・ユース代表団	村上文音さん、鈴木直緒さん（日本）

　このウェビナーの模様はYouTubeでライブ配信し、多くの方に視聴していただきました。ウェビナーの録画は、平和首長会議のウェブサイトからご覧いただけます。

当日の録画
http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/210721_news.html

＝＝

■全米市長会議が年次総会において平和首長会議を支持する決議を採択しました

＝＝

　平和首長会議は都市・市民レベルでの核兵器廃絶に向けた気運の醸成を図るため、世界の自治体組織との協力関係を構築しています。米国の人口3万人以上の都市を対象とした超党派の組織である全米市長会議についても、会長（松井市長）の全米市長会議総会出席（2018年・2019年）等を通じ、平和首長会議の取組について紹介するとともに、米国における加盟拡大について協力を呼び掛けてきました。

　全米市長会議は8月31日（火）に第89回年次総会役員会をオンラインで開催し、「核兵器禁止条約を歓迎し、核戦争防止及び核兵器廃絶に向けた即時行動を求める決議」を満場一致で採択しました。これは平和首長会議の米国のリーダー都市であるデモイン市長を中心とした8名の市長が共同提案したものです。

　決議文では、米国政府に対して、核兵器禁止条約を歓迎し、核兵器廃絶との実現と核兵器のない世界の永久維持を目的とした合意形成を呼び掛けるとともに、平和首長会議の取組を支持し、全米首長会議の全メンバーに対し平和首長会議への加盟を要請しています。全米市長会議は2006年以降毎年、同様の決議文を採択しており、今回で16年連続の採択となります。

決議文＜日本語訳＞（平和首長会議ウェブサイト）
http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/resolutions/20210831.html
決議文＜英語原文＞（平和首長会議ウェブサイト）
http://www.mayorsforpeace.org/english/vision/resolutions/20210831.html

＝＝

■平和首長会議原爆ポスター展 ― 今夏も各地で開催されました

＝＝

平和首長会議では、加盟都市において一人でも多くの市民に被爆の実相について理解を深めてもらい、核兵器廃絶への思いを強くしてもらうため、広島と長崎にまつわる原爆ポスターの印刷用データを提供しております。データはウェブサイトでダウンロードできます。

今年度においても、多くの自治体からポスター展を開催したご報告をいただいております。ありがとうございます。市役所・公民館・図書館など、身近な場所で開催していただくことで、より多くの市民に平和について考えるきっかけとなっていることと思います。

左上：北海道小樽市・小樽市役所、右上：愛知県阿久比町・中央公民館
中央（左右）：愛知県小牧市・まなび創造館
左下：兵庫県淡路市・淡路市役所東浦事務所、右下：兵庫県淡路市・淡路市役所本庁

ポスターのデータ提供は通年で行なっており、下記のリンクからいつでもダウンロードいただけます。今後も開催のご報告をお待ちしております。ダウンロードに必要な ID、パスワードについてご不明な場合は下記までご連絡ください。

▼報告書提出・問い合わせ先：
Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp
TEL:082-242-7821 FAX: 082-242-7452

ポスターデータのダウンロードはこちらから（平和首長会議ウェブサイト）：
http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html#section07

＝＝

■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2021の作品募集中です！

＝＝

平和首長会議では、加盟都市における平和教育の更なる充実を図るため、加盟都市の 6 歳以上 15 歳以下の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテスト 2021 を実施し、作品を募集しています。

- 募集部門：①「6 歳～10 歳の部」
  ②「11 歳～15 歳の部」
- 応募点数：1 都市につき各部門最大 5 作品まで
- 提出期限：2021年11月1日（月） 17時
- 作品提出・問い合わせ先：
  （Email） mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

たくさんの応募をお待ちしています。

絵画コンテストの詳細については、平和首長会議のウェブサイトをご覧ください。
http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives/2021_Art_Competition.html

＝＝＝

■「ヒロシマ平和行政実務者研修」を「平和首長会議インターンシップ」に統合します

＝＝＝

平和首長会議では、加盟都市との連携強化等を目的として「平和首長会議インターンシップ」により、海外加盟都市から若手職員等をインターンとして広島に招へいしています。

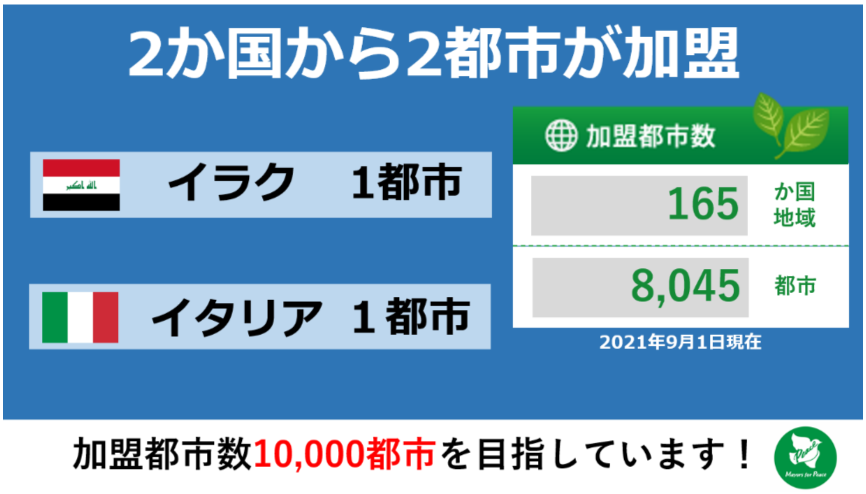
国内加盟都市の若手職員に対しては、「青少年『平和と交流』支援事業」の一環として、「ヒロシマ平和行政実務者研修」を実施してきましたが、同事業は今後の平和活動を担っていく青少年の育成を目的としていることから、今年度より「ヒロシマ平和行政実務者研修」を同様に若手職員を対象としている「平和首長会議インターンシップ」に統合することとしました。

なお、今年度のインターンシップにつきましては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、令和4年1月～2月を目途に3日間の日程で実施することを検討しています。実施内容が決まり次第改めてお伝えしますので、よろしくお願いします。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

■平和首長会議加盟自治体数: 165 か国・地域　8,045 自治体

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝



9月1日付で、2自治体が加盟し、加盟自治体数は8,045となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国名	新規加盟都市名	合計	備考
イラク	メルガソール	143	副会長都市及びリーダー都市であるハラブジャ市の元市長の呼びかけにより加盟。
イタリア	マントヴァ	517	

9月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)
http://www.mayorsforpeace.org/data/03_newmembers/2021/newmembers2109_jp.pdf

加盟都市数一覧(国・地域別)(PDF)
http://www.mayorsforpeace.org/data/01_monthly_updating/07_membership_by_country_jp.pdf

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

今年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「平和首長会議行動計画（2021年−2025年）」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

「平和首長会議行動計画（2021年－2025年）」（PDF）：
http://www.mayorsforpeace.org/jp/conferences/executive/data/12th_ec/PX_Vision_Action_Plan_jp.pdf

行動計画に基づく取組（平和首長会議ウェブサイト）：
http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html

＜＜貴自治体の平和活動の情報をお知らせください＞＞

平和首長会議事務局では、上記の行動計画に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や、「平和文化の振興」に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

行事等のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでにお寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー（平和首長会議ウェブサイト）：
http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html#section10

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先：
Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp
TEL:082-242-7821　FAX: 082-242-7452

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

平和首長会議では、行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

今年度においても、すでに多くの加盟都市から配付の申請をいただいております。ありがとうございます。引き続き申請を受け付けておりますので、是非ご検討いただければ幸いです。なお、この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。

また、被爆樹木二世を活用した取組（植樹式や啓発活動を行ったり、平和教育の教材として活用した例など）がありましたら、是非事務局にご報告ください。このメールマガジンや、平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp
▼TEL: 082-242-7821　FAX: 082-242-7452

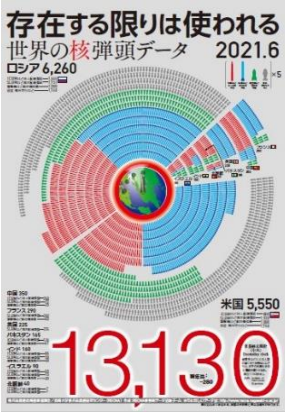
被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード：
http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html#section04

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

■長崎大学核兵器廃絶研究センターから：2021年版「世界の核弾頭データ」ポスター解説③

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

前回まで2回にわたって、米国とロシアの保有核兵器の現状を見てきました。今回は、その他の核保有国に注目していきます。



核不拡散条約（NPT）を締約している5つの核保有国（米国、ロシア、中国、フランス、英国）のうち、もっとも核保有数が少ないのが英国です。この国が核弾頭削減の歩みを止めたことが、2021年版の核弾頭データの注目すべき点の一つです。英国政府は2020年半ばまでに保有核弾頭数を180発までに削減すると公言しており、このポスターが登場した2013年以降、英国の弾頭数は減少傾向にありました。しかし2021年3月に発表した政策文書で、英国政府は、安全保障上の脅威の増大を理由に、保有核弾頭の上限を260発に引き上げることを発表したのです。本ポスターの2021年版では、英国の弾頭数を前年比30発増の225発としています。NPTのもとで核軍縮義務を負っている5つの核保有国のうち、ロシア、英国、中国の3カ国において、軍用核弾頭数（配備・非配備を含めた「現役」の核弾頭のこと）が増加していることは、核軍縮努力の加速を求める非核保有国との溝をさらに深めるものと言えるでしょう。

【表】

核保有国の推定保有数の推移（2013年～21年）

	2013	2021	増　減
北朝鮮	10以下	40	30以上の増
インド	90-110	160	50-70増
パキスタン	100-120	165	45-65増
イスラエル	80	90	10増
英国	225	225	増減なし
中国	250	350	100増
フランス	300	290	10減
米国	7,650	5,550	2,100減
ロシア	8,514	6,255	2,259減

例年に引き続き、中国、インド、パキスタン、北朝鮮の核戦力は拡大傾向にあります。右の【表】に示したように、過去8年間で、中国は100発、インドは50～70発、パキスタンは45～65発、北朝鮮は少なくとも30発、保有核弾頭を増加させたと見られます。また、各種ミサイルなど運搬手段の開発・配備も急ピッチで進められています。こうした傾向に歯止めがかかる兆しは今のところありません。

もっと詳しく知りたい方は RECNA のホームページをご覧ください。

＝＝

■広島市立大学からのお知らせ：8月に『広島発の平和学』を刊行

＝＝

広島・長崎への原爆投下から75年余りが経過しました。被爆者の高齢化も進み、被爆の記憶を継承し、次世代に向けて平和な社会を築き上げていくことが重要な課題になっています。こうした課題への取り組みの一つとして、本年8月に広島市立大学広島平和研究所編『広島発の平和学』が法律文化社から刊行されました。

本書は、国籍や専門分野の異なる広島平和研究所の教員13名が、被爆地・広島に置かれた研究機関に所属することを意識しながら、原爆体験の今日的な意味や影響、現代の国際社会における平和創造の課題と手立てについて分析を加えたものです。

タイトルの「広島発」にある広島とは何か。広島の自己像は諸外国にどう映っているのか。「力による平和」の論理に頼らず、非暴力的な方法で平和を維持・達成することは可能なのか。核問題は地球環境問題を含むグローバル・イシューズとして、どう捉えられるだろうか。

本書では、このような問いを念頭に置きながら、原爆体験の教訓を国際的な視座から再考し、人間の生存や尊厳を脅かす要因の分析を通して、平和な世界を構築するための方途を探っています。

（永井　均・広島平和研究所副所長）

本書の概要は広島平和研究所のウェブサイトでご覧いただけます。
https://www.peace.hiroshima-cu.ac.jp/books/hiroshima-hatsu-no-heiwagaku/

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

■ヒロシマ発平和関連ニュース　（連載第 83 回）

［中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事］

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

私たちは2008年から現在まで、原爆に関する中国新聞の掲載記事全てを中国新聞ヒロシマ平和メディアセンターのウェブサイト（https://www.hiroshimapeacemedia.jp/）に掲載しています。重要な記事は英語に翻訳し、課金なしで日本全国、世界各地の人たちに読んでもらえるようにしています。被爆地からの平和の訴えや被爆者の体験証言をできる限り広げることが、被爆地の報道機関の使命だと思っているからです。

先月、トップページのデザインなどを一新しました。日々のニュース記事以外のコンテンツも新たに加えました。その一つが、1946年から現在までの8月6、7日の朝刊一面をPDFで見ることができるコーナーです（https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?post_type=m_newspaper）。

1940年代後半は、「復興」「平和」の文字が目立ちます。原水爆禁止運動の分裂、核実験への怒り、米ソ冷戦期の緊張…。紙面からその年のニュースを知ることができます。「核兵器廃絶」の文字が出されてくるのは、意外と後になってからです。「載るはずだったが載らなかった記事」に気付くことも可能です。1950年8月7日付の紙面に、平和記念式典の記事はありません。朝鮮戦争が始まったこの年、日本を占領統治していた連合国軍総司令部(GHQ)の意向で式典は中止されたのです。式典が1面トップの扱いに復活するのは、日本が主権を回復した翌年で、朝鮮戦争の休戦協定に至った53年です。

巡り来る原爆の日の8月6日が、広島と世界にとってどう変遷してきたのかを垣間見ることができます。75年間の世相を映し出しています。どうぞご覧ください。

関連記事は次のアドレスで読めます。

『記憶を受け継ぐ』 今西和男さん―家が崩れ足にケロイド
https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=107497

［ヒロシマの空白　被爆76年　証しを残す］ 焼失の島病院　設計図発見　爆心地周辺で「貴重」
https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=107773

［ヒロシマの空白　被爆76年　証しを残す］ 80人の死　無念さ切々と
https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=107769

［ヒロシマの空白　被爆76年　証しを残す］ ランドセル　思い次代へ　被爆死の市女生　前岡さん親族
https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=108211

緑地帯　廣谷明人　奇跡の被爆バイオリン①
https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=108378

＝＝

■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

＝＝

核兵器禁止条約は今年1月22日に発効し、現在55か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。

広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙
http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/2021/syomei.pdf

＊＊＊このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください＊＊＊

平和首長会議事務局

〒730-0811　広島市中区中島町 1-5
（公財）広島平和文化センター　平和首長会議運営課
TEL: 082-242-7821　FAX: 082-242-7452
Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。
http://www.mayorsforpeace.org/jp/statements/newsflash.html

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈ツイッター〉
https://twitter.com/Mayors4Peace

〈フェイスブック〉
https://www.facebook.com/mayorsforpeace

フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！